

第40回 サイエンスカフェひめ

アカマツ盛衰記

日時 令和5年

5月23日(火)

19:00~20:30

会場 愛媛大学 松山市文京町3番

E.U. リージョナルコモンズ「ひめテラス」1階
※Zoomによるオンライン参加もできます。

対象 自然に関心がある方30人、
参加無料

【お申し込み】

お名前、住所(都道府県・市町村・町名まで)、
メールアドレス、**会場参加/Zoomによるオンライン参加のいずれを希望するか明記し、**
下記メールアドレスへ。

(個人情報適正に管理し、当事業関係のご
連絡にのみ使用します。)

NPO法人 森からつづく道
(松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

【主催】NPO法人森からつづく道

【後援】愛媛大学ミュージアム

江戸時代、西日本の沿岸付近の低山斜面はアカマツ林に覆われ、マツ材や松葉は煮炊きや製塩・製瓦・製鉄の燃料として里人の暮らしと町の繁栄を支えていた。海岸に植えられたクロマツ林は背後の田畑を飛砂から守り、白砂青松の風景を作った。しかし1970年代以降、松くい虫被害によりマツ林は一挙に衰退。その背景には燃料革命があった。
人間に翻弄されたマツ林の盛衰を紹介する。

◆話題提供 松井 宏光 氏

松山東雲短期大学名誉教授、NPO法人森からつづく道理事長、愛媛植物研究会会長。専門は森林群落分類・植物分類地理。1978~1987年と2000~2023年の2回、愛媛県植生図の作成に携わる。

Web
申し込み

